

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

「入院患者における転倒・転落症例の分析と新高危険群抽出ツール開発」 に関する研究

1. 研究の対象

2020年1月1日から2036年3月31日までの間に、当院へ入院し治療を受けた方

2. 研究目的・方法

目的

東海大学医学部付属八王子病院の入院患者における過去の Hachioji Accident Incident レポートより医療安全対策課が収集したデータを用いて転倒・転落ワーキンググループで後ろ向きに入院中の転倒・転落例の分析を行い、他施設、本邦全国成績、海外施設の成績と比較することで今後の転倒・転落予防に寄与することを目的とします。また新高危険群抽出ツール開発を行い、本ツールが実際に転倒・転落予防に寄与するか検証いたします。

方法

この研究に使用する情報として、Hachioji Accident Incident レポートから項目を抽出し解析いたしますが、氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除し統計学的に解析されます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・試料：該当なし

- ・診療情報：患者の年齢、性別、内服薬剤数、転倒・転落時の日常生活動作(activities of daily living)、全身状態、診療情報、転倒・転落を原因としたアクシデント・インシデント影響度レベル分類

4. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等は研究責任者が解析いたします。他者・他院への提供はありません。
なお、本研究で得られたデータは将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性があります。その場合には、再度、倫理審査での承認および施設長の許可を得て実施します。

5. 利益相反に関する事項

利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5051）
研究責任者/問い合わせ担当者 東海大学医学部外科学系消化器外科学 金子順一